公害反対運動の経験から地域環境の保全活動へ
工業都市における環境運動と沿岸域の環境再生

関連するSDGsの国際目標

環境科学部　環境社会システム学科　教授　　香川　雄一
研究分野　：環境地理学、都市社会地理学、政治地理学

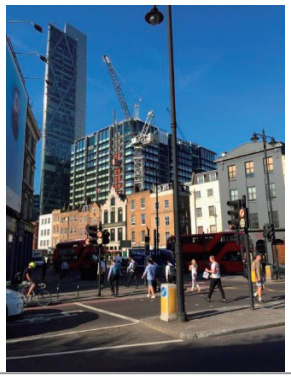
工業都市における公害問題への地域住民の対応を研究してきたなかで、工業地帯周辺だけではなく沿岸域における農漁業従事者の生活史の調査結果から、環境再生への展開過程を理解してきた。近年では、国内外のラムサール条約登録湿地における、環境保全をめぐる主体間調整も、研究対象に加えている。

■　環境地理学

日本の工業都市において発生してきた公害問題を調査対象として、環境運動や地域環境政策の実態を明らかにしてきた。滋賀県立大学への着任以降は、滋賀県や琵琶湖をめぐる環境変化と地域社会について、沿岸域における漁業者を中心とした環境保全活動を調査している。国内外のラムサール条約登録湿地も研究対象である。

■　都市社会地理学

アジアの大都市における都市環境問題の歴史的分析のために、各時代における地形図や統計データを活用してきた。GISを用いて都市内部の社会構造に関する分析も実施している。近年では英米の大都市における健康環境問題の発生地において、歴史的な地域社会調査に取り組み始めている。



■　政治地理学

社会運動論の政治地理学における受容と展開を踏まえ、政策過程の言説分析を取り入れている。

＜科研費の取得状況＞
・平成18～19年度　科学研究費補助金（萌芽研究　課題番号18652074）「都市近郊農村における社会的・政治的ポリティクス」，研究分担者
・平成21～23年度　科学研究費補助金（基盤研究B　課題番号21320159）「公共性とガバナンスからみた近・現代社会の空間編成に関する研究」，連携研究者
・平成22～24年度　科学研究費補助金（基盤研究B　課題番号22320171）「ラムサール条約登録湿地の保全と利用をめぐる政治地理学的研究」，研究分担者
・平成23～25年度　科学研究費補助金（基盤研究C　課題番号23520960）「沿岸域の環境管理における漁業者による環境保全活動の国際比較に関する研究」，研究代表者
・平成24～26年度　科学研究費補助金（基盤研究C　課題番号24501295）「湖沼流域における沿岸エコトーンの景観生態学的特性把握と環境資源管理に関する研究」，研究分担者
・平成24～27年度　科学研究費補助金（基盤研究C　課題番号24510055）「環境保全、多様な選好、長期の時間軸の３要素を統合する市町村森林計画手法の開発」，研究分担者
・平成25～27年度　科学研究費補助金（基盤研究B　課題番号25284166）「湿地のワイズユース再考：グリーン経済化の流れとその問題点」，研究分担者
・平成27～29年度　科学研究費補助金（基盤研究B　課題番号15H03277）「グローバル化の新局面における政治空間の変容と新しいガバナンスへの展望」，研究分担者
・平成28～30年度　科学研究費補助金（基盤研究C　課題番号16K03195）「大都市における疾病発生にともなう健康環境問題への人文地理学的貢献」，研究代表者
・平成31～令和4年度　科学研究費補助金（基盤研究C　課題番号19K01188）「沿岸域における近代以降の環境史についての環境地政学的研究」，研究代表者
・令和5～令和7年度　科学研究費補助金（基盤研究C　課題番号23K00989）「迷惑施設の立地における選定経緯の解明と将来的な立地決定過程への政治地理学的提案」，研究代表者